

DTM クイックスタートドキュメント

本ドキュメントでは Behringer 製品を使用し、マイク、ギター/ベースなどの録音方法やセットアップについて簡単にご案内いたします。

DTM とは Desk Top Music の略称で、一般的に宅録とも言われたりします。

現在ネットワークの普及に伴い、自宅にいながらも楽曲を制作し、YouTube や SoundCloud などにアップロードして世界中の人と音楽を共有することができます。

簡単に音楽を作成し、共有できることで、今まで高かった“レコーディング”というハードルが低くなり、多くの方がこの DTM を始めています。

目次

Windows : ドライバーのインストール.....	4
オーディオインターフェースの接続.....	5
オーディオインターフェースへ接続と設定.....	6
DAW の設定と録音(Windows).....	7
DAW の設定と録音(Mac).....	8

まず DTM を始めるにはいくつかの準備が必要です。

本ドキュメントでは PC や Mac を利用した方法をご案内いたします。

DTM を始めるにあたり、基本的に必要なものは以下になります

- ・ PC または Mac
 - ・ DAW(Digital Audio Workstation)ソフトウェア ※無料で提供されているものもありますので、ご自身に合うものをご利用ください。
 - ・ オーディオインターフェース
 - ・ USB ケーブル(Type A- Type B)
- ※Mac をご利用で USB C タイプのポートのみ備わっている場合は変換アダプターや USB Type C- Type B ケーブルをご用意ください。
- ・ ヘッドフォンやスピーカーなど音を確認できるもの
 - ・ スピーカーとオーディオインターフェースを接続するためのケーブル
 - ・ マイク(ボーカルやアコースティックギターの音声を録音する場合)
 - ・ ギター/ベース(ギターやベースを録音する場合)
 - ・ アンプシミュレーターハードウェアやソフトウェア (ギターやベースの録音に必要な場合)
 - ・ マイクや楽器をオーディオインターフェースに接続するためのケーブル

オーディオインターフェースを選ぶ際は、“初めてのオーディオインターフェース選択ガイド”

も併せてご参考ください

Windows：ドライバーのインストール

DTMに必要なものが揃ったら、さっそく DTM を始める準備をしていきます。

Windows をご利用の場合は先にドライバーソフトウェアをインストールする必要がある
います。

あらかじめ <https://www.behringer.com/downloads.html> よりご利用いただく製品に合
わせてドライバーソフトウェアをダウンロードください。

ご利用いただく製品を選択し、Type→Software、Drivers,USB,Audio を選択し、出てきた
中でご利用の環境に合うものをご利用ください。

UCA シリーズや UM2 など一部の製品については ASIO4ALL という汎用 ASIO ドライバを
インストールする必要があります。

ASIO4ALL 側のサイトからドライバーをダウンロードいただき、インストールを行って
ください。

※Mac をご利用の場合は、Mac に備わっている CoreAudio 準拠で動作いたしますのでドラ
イバソフトウェアのインストールは必要ございません。

オーディオインターフェースの接続

ドライバソフトウェアのインストールが完了したらオーディオインターフェースを PC/Mac へ接続します。

以下の手順に従って接続を行ってください。

1. オーディオインターフェースの USB ポート(USB Type B)に USB ケーブルを接続します。
2. USB ケーブルの逆側(USB Type A)を PC または Mac*1 の USB ポートへ接続します。
3. オーディオインターフェースの電源を入れます。(モデルによっては電源の ON/OFF スイッチがなく、接続するとそのまま電源が ON になります。)
4. オーディオインターフェースの電源が入ったら、PC または Mac で正常にオーディオインターフェースデバイスが認識されていることを確認します。(PC の場合はサウンドコントロールパネル、Mac の場合は Audio MIDI 設定画面から確認を行うことができます)

*1 USB Type C ポートのみ搭載の Mac の場合は別途 USB Type A-C 変換アダプターか USB Type C-B ケーブルが必要となりますので、予めご確認ください。

オーディオインターフェースへ接続と設定

オーディオインターフェースが PC/Mac と接続出来たら、次に楽器とスピーカーをオーディオインターフェースに接続します。

以下の手順に従って接続と設定を行ってください。

1. オーディオインターフェースのすべてのツマミが0になっていることを確認します。
2. マイクや楽器へ用意したケーブルを接続します。
3. アンプシミュレーターハードウェアを使用する場合は、楽器からアンプシミュレータへ接続し、アウトプットへ別途用意したもう一本のケーブルを接続してください。アンプシミュレータを使用しない場合はそのまま次へ進んでください。
4. ケーブルの逆側をオーディオインターフェースへ接続します。この際、マイクはマイク入力(XLR 端子)、楽器などは INST 入力(LINE 入力へ接続してください。)※コンデンサーマイクを使用する際は +48V ファンタム電源を ON にしてください
5. スピーカーのインプットとオーディオインターフェースのメインアウトを接続します。スピーカーを使用しない場合はそのまま次へ進んでください。
6. オーディオインターフェースのヘッドフォンアウトにヘッドフォンを接続します。
7. マイクや楽器を演奏し、使用している入力に適応するツマミを徐々に上げていきます。通常演奏時に出る一番大きな音(声)を入力したときに CLIP ランプが点灯するかしないかのレベルに調整してください。

DAW の設定と録音(Windows)

ご利用いただく DAW ソフトウェアによって設定は異なります。

本頁では一般的な設定方法をご案内します。

Mac については次のページをご覧ください。

以下の手順に従って接続と設定を行ってください。

1. DAW ソフトウェアを開きます。
2. 新規でプロジェクト(ファイル)を作成します
3. DAW のオーディオ設定に移動します。
4. オーディオデバイスを使用するオーディオインターフェースに設定します(ASIO4ALL を使用するデバイスの場合は ASIO4ALL とご選択ください)
5. ASIO4ALL を使用する場合は、ASIO4ALL のコントロールパネルを開き、USB Audio CODEC の横にある電源マークが点灯していることを確認してください。設定されていない場合はこのマークを選択してください。ASIO4ALL を使用しないデバイスの場合はそのまま次へ進んでください。
6. 設定が完了したら、オーディオトラックを作成します。
7. 作成したオーディオトラックの入力を現在マイクや楽器を接続しているインプットに設定してください。
8. オーディオトラックの録音ボタン(一般的には R と書かれています)を ON にし、インプットモニターを ON にしてください。
9. マイクや楽器を演奏し、オーディオインターフェースのアウトプットボリュームを徐々に上げていき、音が出力されることを確認しながら、音量を調整します。(ヘッドフォンのみを接続している場合は、ヘッドフォンアウトのボリュームを上げてください。)
10. 音量の調整が完了したら、DAW 側の録音ボタンを押すと録音が始まります。クリックやオケに合わせて演奏し、録音を行ってください。

※それぞれの接続や設定についてはご利用いただく DAW のマニュアル等をご確認ください。

DAW の設定と録音(Mac)

ご利用いただく DAW ソフトウェアによって設定は異なります。

本頁では一般的な設定方法をご案内します。

Windows については前のページをご覧ください。

以下の手順に従って接続と設定を行ってください。

1. システム環境設定を開きます。
2. セキュリティとプライバシーを開きます。
3. プライバシータブを開きます。
4. マイクを選択し、使用する DAW にチェックが入っていることをご確認ください。
5. 使用いただく DAW ソフトウェアを開いてください。
6. 新規でプロジェクト(ファイル)を作成します
7. DAW のオーディオ設定に移動します。
8. オーディオデバイスを使用するオーディオインターフェースに設定します。
9. 設定が完了したら、オーディオトラックを作成します。
10. 作成したオーディオトラックの入力を現在マイクや楽器を接続しているインプットに設定してください。
11. オーディオトラックの録音ボタン(一般的には R と書かれています)を ON にし、インプットモニターを ON にしてください。
12. マイクや楽器を演奏し、オーディオインターフェースのアウトプットボリュームを徐々に上げていき、音が出力されることを確認しながら、音量を調整します。(ヘッドフォンのみを接続している場合は、ヘッドフォンアウトのボリュームを上げてください。)
13. 音量の調整が完了したら、DAW 側の録音ボタンを押すと録音が始まります。クリックやオケに合わせて演奏し、録音を行ってください。

※それぞれの接続や設定についてはご利用いただく DAW のマニュアル等をご確認ください。

本ドキュメントはDTMを始めるために、基本的な動作を案内したドキュメントとなります。

ソフトウェア側の詳しい設定やトラブルシューティングについてはソフトウェア側のメーカーサポートまでお問い合わせください。

Behringer 製品についてお問い合わせがある場合は、以下のサポートページよりお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

株式会社エレクトリ MUSIC トライブ製品サポートフォーム

URL : https://www.electori.co.jp/contact-musictribe/contact_musictribe.html



株式会社エレクトリ

〒105-0022 東京都港区海岸 2-7-70

<https://www.electori.co.jp/>

※本ドキュメントの SNS をはじめとする弊社サイト以外での配布を禁止します。